

エコーネットコンソーシアム活動状況報告(2018年4月～6月)

分類	活動状況	備考
トピックス	<p>①第5回定時社員総会を開催          ・6月12日にシーバンスS館大ホールにて第5回の定時社員総会を開催。          ・出席は幹事会社7社、一般会員89社(委任状を含む)          ・2017年度の事業報告、2018年度の事業計画および収支予算計画を報告。          ・2017年度の計算書および理事4名、監事1名の選任について承認。          ・代表理事の任期満了に伴い、新たにパナソニック株式会社の平松氏が代表理事に就任</p> <p>②戦略構築WGによるECHONET2.0ビジョン戦略の検討を開始          ECHONET LiteをエネルギーからIoT関連サービスに適用範囲を拡大する”ECHONET2.0ビジョン”の戦略を構築するために、戦略構築WGを設置し、検討作業を開始した。検討した”ECHONET2.0ビジョン”戦略のコンセプトを中間報告として、第9回フォーラムにて会員に説明した。</p> <p>③第9回フォーラムの開催          6月26日に第9回フォーラムを開催、約95名の会員の参加を得、”ECHONET2.0ビジョン”戦略を主テーマとして、戦略のコンセプトの中間報告を行うとともに、特別講演としてNTTスマイルエナジー様が取り組んでいる”エネルギーIoTプラットフォーム「エコめがね」”の紹介、株式会社ローソン様が取り組んでいる”LAWSON Smart Energy Store”の紹介講演をしていただいた。</p> <p>④ECHONET Lite規格書に含まれていたECHONET Lite システム設計指針(規格書第5部)を規格書本体から分離独立し、ECHONET Lite規格書Ver.1.13とECHONET Liteシステム設計指針第1版として一般公開した。</p>	
企画運営委員会	<p>①2018年6月26日に浜松町シーバンスS館において、第9回フォーラムを開催し、”ECHONET2.0ビジョン”戦略の中間報告、特別講演としてエコーネットが目指すIoTへの適用拡大の事例として、NTTスマイルエナジー様からは”エネルギーIoTプラットフォーム「エコめがね」”の紹介、株式会社ローソン様からは、”LAWSON Smart Energy Store”の紹介講演をしていただいた。また、各委員長からは、2017年度の事業報告、2018年度の事業計画を説明に加え、会員企業からの技術紹介講演、技術展示を行った。</p> <p>②ECHONET Lite AIF仕様書(エアコン版)の国際標準化提案に向けWD(ワーキングドラフト)作成に着手          経済産業省国際電気標準課からの補助を受け、神奈川工科大学との共同でISO/IEC JTC1 SC25 WG1への提案に向けてエアコンコントローラ間のECHONET Lite AIF仕様のWDの作成を開始した。</p>	
技術委員会	<p>①ECHONET Lite規格書          【仕様書 改訂・会員レビュー】          ・ECHONET Lite規格書の第5部のECHONET Lite システム設計指針は、改編が多いことから、アップデートしやすい構成とするために規格部分をECHONET Lite規格書 Ver.1.13と設計指針部分をECHONET Liteシステム設計指針として分離独立した規格書の構成に変更し、一般公開した。          【認証試験仕様書 改訂・会員公開】          ・ECHONET Lite規格書Ver.1.0*向け第4版、及びECHONET Lite規格書Ver.1.1*向け第4版について、6月7日に会員公開を実施(識別番号重複回避、Errata反映など)</p> <p>②Appendix 機器オブジェクト詳細規定          【会員公開】          ・Appendix 機器オブジェクト詳細規定 Release Jの英語版作成完了。6/7に公開済み。          【新バージョン向け検討】          ・Release L向けに会員各社へ募集実施。提案いただいた内容を現在検討中。今秋一般公開予定。</p> <p>③WebAPIのガイドラインの検討          ・WebAPI検討WGで、検討しているWebAPIIに関する現時点での成果概要を会員用HPIに掲載。</p>	
普及委員会	<p>①4月に設置した戦略構築WGにて”ECHONET2.0ビジョン”戦略のコンセプトの検討を行い、第9回フォーラムにて中間報告をおこなった。</p> <p>②2018年度の慶應義塾大学との共同研究では、2017年度の共同研究で作成した教育教材を使い、講義、フィールドワークによる講座を推進する予定で、そのための共同研究契約を締結した。</p> <p>③2017年度の出荷台数調査を行い、総会、ホームページで公開した。2013年度からの累計でECHONET Lite機器全体で1740万台を突破した。また、スマートメータは家庭への設置が進み2017年3月時点で2764万台となった。(出典:電気事業便覧2017年度版)</p> <p>④経済産業省の平成30年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業にて、全国各地で公募説明会が開催され、エコーネットコンソーシアムは、補助金の受給条件であるECHONET Lite規格、ECHONET Lite AIF仕様の紹介を行った。(東京、札幌、大阪、旭川、広島、高松、名古屋、高知、長野、福岡、新潟、鹿児島、仙台、熊本、盛岡、金沢、那覇、米子)</p>	